

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

八王子市市民活動支援センター

施設名												
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)		
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)					
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	支援センター会議 1回/月	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。 この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。 この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。 この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。 この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	
		支援センター部門会議(啓発部、情報部、ファンド部 1回/月、広報部は隔月開催)	B		各部門の月1~2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	B		各部門の月1~2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	B		各部門の月1~2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	B		各部門の月1~2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例:銀行口座】	B		支援センター用の専用口座を開設し、インターネットバンキングでタイムリーに入金確認、支払業務を行っている。	B		支援センター用の専用口座を開設し、インターネットバンキングでタイムリーに入金確認、支払業務を行っている。	B		支援センター用の専用口座を開設し、インターネットバンキングでタイムリーに入金確認、支払業務を行っている。	B		支援センター用の専用口座を開設し、インターネットバンキングでタイムリーに入金確認、支払業務を行っている。
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例:独立した会計帳簿】	B		各担当者が作成した入出金伝票に上長が承認した会計伝票に基づき、会計担当が入出金及び伝票入力を行い、会計システムへの入力の都度、口座残高との照合を行っている。	B		各担当者が作成した入出金伝票に上長が承認した会計伝票に基づき、会計担当が入出金及び伝票入力を行い、会計システムへの入力の都度、口座残高との照合を行っている。	B		各担当者が作成した入出金伝票に上長が承認した会計伝票に基づき、会計担当が入出金及び伝票入力を行い、会計システムへの入力の都度、口座残高との照合を行っている。	B		各担当者が作成した入出金伝票に上長が承認した会計伝票に基づき、会計担当が入出金及び伝票入力を行い、会計システムへの入力の都度、口座残高との照合を行っている。
			コピー機等使用料や講座の受講料などの徴収は適正に行われているか 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B		コピー機使用料や講座の受講料などの徴収は適正に行われ、担当者が作成した入金伝票に上長が承認し、会計担当が徴収し、会計システムに部門別に入力している。5月からコピー機にコインラックを設置し、職員の業務経費が図られた。	B		コピー機使用料はコインラックの設置により適正に徴収されている。また、講座の受講料等は入金伝票と領収書控を照合し、速やかに入金処理をし、会計システムに部門別に入力している。	B		コピー機使用料はコインラックの設置により適正に徴収されている。また、講座の受講料等は入金伝票と領収書控を照合し、速やかに入金処理をし、会計システムに部門別に入力している。	B		コピー機使用料はコインラックの設置により適正に徴収されている。また、講座の受講料等は入金伝票と領収書控を照合し、速やかに入金処理をし、会計システムに部門別に入力している。
		収支計画が適正であること	B		毎月、会計担当は事業計画に基づいて、予算執行の進捗状況を確認して、その適正性を管理し、センター会議で報告している。	B		毎月、会計担当は事業計画に基づいて、予算執行の進捗状況を確認して、その適正性を管理し、増減理由をセンター会議で報告している。	B		毎月、会計担当は事業計画に基づいて、予算執行の進捗状況を確認して、その適正性を管理し、増減理由をセンター会議で報告している。	B		毎月、会計担当は事業計画に基づいて、予算執行の進捗状況を確認して、その適正性を管理し、増減理由をセンター会議で報告している。	
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。その結果外部から講師を依頼されるスタッフも育成されている。	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。その結果外部から講師を依頼されるスタッフも育成されている。	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。その結果外部から講師を依頼されるスタッフも育成されている。	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。その結果外部から講師を依頼されるスタッフも育成されている。	
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B		業務の一括委託は行っていないが、一部専門的な役割については、市との協議の上、第三者との業務委託契約書を作成し、委託しているものもある。	B		業務の一括委託は行っていないが、一部専門的な役割については、市との協議の上、第三者との業務委託契約書を作成し、委託しているものもある。	B		業務の一括委託は行っていないが、一部専門的な役割については、市との協議の上、第三者との業務委託契約書を作成し、委託しているものもある。	B		業務の一括委託は行っていないが、一部専門的な役割については、市との協議の上、第三者との業務委託契約書を作成し、委託しているものもある。			
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	開館日数 309日/年 通常休館日 52日/年 月曜振替休館日 5日/年												B	
		定性的	開館日数、開館時間は守られているか 【確認資料例:条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B		規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。	B		規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。	B		規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。	B		規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。
	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例:ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】		B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。	B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。	B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。	B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。	
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか		B		施設に関しては、清潔、安全に配慮して管理している。利用者が快適に使用できるように、常に配慮している。 会議室の予約をホームページ上からできるように検討を開始した。管理者機能について着手した。	A	デジタルの活用により利用者の利便性を高める工夫をしたことを評価する。	A	会議室予約システム(内部用)が完成し、公開した。センター入り口と会議室前にその日の利用状況をモニターで表示した。会議室利用状況の集計にも対応済み。	A	デジタルの活用により利用者の利便性を高める工夫をしたことを評価する。	A	デジタルの活用により利用者の利便性を高める工夫をしたことを評価する。	A	会議室予約システム(団体向け)を開発した。公開は令和6年度を予定している。これにより、Webから会議室予約が可能となり、利用団体の利便性が向上する。
備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。			

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
図施 られた サービス 向上、 利用者 の増加 等を 図る 方策が	定量的 広報紙発行 5000部/隔月(奇数月)	B		年6回奇数月に発行している。今期は5月に発行した。「ユモアスピーチの会」を特集した。限られた紙面を補うために、QRコードを活用することによって、動画や他の情報を紹介することもできている。	B		年6回奇数月に発行している。今期は7月、9月に発行した。7月は「こども食堂カエ北野」19月の「NPO法人息方ベース」の里山の空き家活用の取り組みを特集した。限られた紙面を補うためにQRコードを活用することによって、動画や他の情報を紹介することもできている。	B		年6回奇数月に発行している。今期は11月に発行した。11月に市が行う日本遺産フェスにちなみ桑都文化と養蚕農家を特集した。限られた紙面を補うためにQRコードを活用することによって、動画や他の情報を紹介することもできている。	B		年6回奇数月に発行した。今期は1月、3月に発行した。1月は2007年から活動する八王子まちの魅力くちこみ隊を特集。この団体は2013年から「はちおうじ市民塾」の講座にも協力している。3月はプロボノの特集とし、実績を紹介するとともに団体とプロボノをどうマッチングできるか、知ってもらえるかを紹介した。
	定量的 利用者満足度 90%以上/年	B		年1度、施設利用者満足度調査を行っている。昨年度は、スタッフ対応99.5%、センター全体で99%の満足度であった。今年度は第4四半期に予定している。	B		年1度、施設利用者満足度調査を行った。昨年度は、スタッフ対応99.5%、センター全体で99%の満足度であった。今年度は第4四半期に予定している。	B		11月から12月末にかけてセンター来所者を対象に、本年度の満足度調査を行った。本年度は会議室利用の団体のメンバー全員に対しての調査の周知を徹底して伝えたため、昨年度より多くの270余りの調査数を獲得、集計は1月に降に行う。	B		本年度の調査数は280となり、全般的な満足度およびスタッフの対応については「満足」と「やや満足」を合わせて99.3%となり、前年度同様99%以上の満足度となった。また他の項目についてもすべて90%以上の満足度という評価だった。
	定性的 利用者からの苦情処理の体制がとられていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B		苦情相談・要望台帳を作り、苦情・要望に関してはスタッフ間で共有し、適切に対応するようにしている。	B		苦情相談・要望台帳を作り、苦情・要望に関してはスタッフ間で共有し、適切に対応するようにしている。	B		苦情相談・要望台帳を作り、苦情・要望に関してはスタッフ間で共有し、適切に対応するようにしている。	B	
図れ られ た 経 済 効 率 の 高 ま り が 確 か な か ら な い	定量的 電気使用量及び水道使用量の過去3年【令和2年度(2020年度)~令和4年度(2022年度)】平均比100%以下/年										B		電気 93.6%(R5年度使用量:17,660kwh) 水道 131.3%(R5年度使用量:112㎡) ※3か年平均使用量 電気:18,858.7kwh 水道:85.3㎡
事業 の 達成 目標 が 明確 で、 具体 的な 事業 計画 に基づ いて 事業 が行 われ ている か	定量的 アクティブ市民塾 6回/年	B		年6回予定しているアクティブ市民塾の1回目として、8月19日に子どもの居場所である「Yottette」を訪問し、この活動を立ち上げた想いや、現状、これからの展望などを代表から話していただいた。これから「居場所」を立ち上げたいという人には大変参考になる話だった。	B		年6回計画しているアクティブ市民塾の2回目として、8月19日に無料学習塾「八王子つばめ塾」の取り組みを紹介した。この活動を立ち上げた経緯や、現状、将来像などを代表から話していただいた。「無料学習塾」の立ち上げを計画している人、興味のある人に参考になった。	B		年6回計画しているアクティブ市民塾の3回目として11/24に陸南公園でノルディックウォークの取り組みを体験型として紹介した。これをきっかけに同会に入会する市民もいた。第2回目として12/31に宇津貫みどり会を講師として、宇津貫緑地にて初冬の里山散歩というイベントを行い、団体の里山保全活動を現地で紹介した。	B		2月にパフォーマンス集団ヨロコンデによる演劇体験を行い、25名が参加、3月に一般社団法人まもりすくじょうエンディングノートの書き方のイベントを行い、22名の参加があった。年度を通じて6回開催し、それぞれの団体のさまざまな取り組みを市民にアピールすることができた。
	定量的 NPOパワーアップ講座 全6回/年	B		8月25日を1回目として、今年度は6回連続講座で準備している。6回の日程、講師も決まり、チラシを配布、広報はちおうじにも掲載し、現在受講申し込み受付中である。	B		8/25 第1回「市民団体を立ち上げるのに必要なこと〜ビジョン、ミッションと会則を考えよう〜」を開催。9団体14名が受講。団体の活動理由、活動目的等 改めて認識する機会となった。 9/8 第2回「市民活動の運営と継続〜持続可能な組織づくり〜」を開催。11団体14名が受講。「なぜなぜ分析」を通して、自分達で団体の課題を解決する道筋を示した。	B		10/13第3回団体にあった法人格を考えよう/さまざまな法人格の特徴、法人化について、13名が受講。組織の形態による法人格のあり方についての理解が深んだ。 11/17第4回みんなでつくる元気になる会議/ホワイトボード・ミーティングを活用した。8名が受講。会議の内容をシェアライズすることにより効率化する説明。 12/15第5回団体の資金づくり/団体の活動に必要な会費、補助金、助成金、寄付金の集め方。18名が受講。活動に必要な資金作りについての説明が詳細に述べられた。	B		連続6回講座の最終回「その困った!をサポートします」をテーマにプロボノ紹介講座を1月19日(金)に開催し今年度のプログラムはすべて終了した。今年度は昨年度のアンケートや相談内容をもとに、市民活動を行う上で最も多く課題になっていると想定されることをテーマとした。また、講師についてもより現場に近いところで、実際に相談業務に当たっている方や活動している方をお願いした。結果、講座に参加した団体からは、実践に即した講座で良かったと高い評価を頂いた。
	定量的 市民活動実践講座 1回/年	B		今年も昨年同様に多くの世代にNPO活動を知ってもらうために、夏休み企画とし、小・中学生も参加してもらえるような企画とすることで7月29日に開催を予定し準備している。テーマはSDGsカードゲームを使って「八王子の未来づくり挑戦しよう!」	B		当日は4年ぶりに各地で花火大会が開催された影響もあったのか、定員40名に対し参加者は23名だった。そのなかで参加してくれた小学生9名は、自分たちの(ゲームでの)行動が未来のまちやくらしにどう影響を与えられるかを素早く理解し、行動をしていた。ゲームを通してのシミュレーションであったが、自分たちのまちの未来は自分たちの行動で変えられるということを考える良い契機になったと思う。	B		支援講座では、市民活動の広報や運営、交流にITを活用するための講座を、支援センター職員自ら講師を務める形で企画をした。7月は6月からのHPづくりの2回目。8月はGoogleフォームの活用の仕方を取り上げた。どちらも市民活動団体の広報や情報の共有に役立つものとして有用な講座となった。	B		第2四半期に実施。昨年に続き夏休み企画として、小中学生の参加を期待した企画とした。参加してくれた小学生9名は、自分たちの(ゲームでの)行動が未来のまちやくらしにどう影響を与えられるかを素早く理解し、行動をしていた。ゲームを通してのシミュレーションであったが、自分たちのまちの未来は自分たちの行動で変えられるということを考える良い契機になったと思う。
	定量的 市民活動支援講座 8回/年	B		支援講座では、市民活動の広報や運営、交流にITを活用するための講座を、支援センター職員自ら講師を務める形で企画をした。5月は「Canvaを使ったチラシ作り」、6月は「Zoom講座初級者向け/中級者向け」と「ホームページ作成支援講座(前半)」を開催。どのテーマも、独学で悩んでいた、手探り状態だったという団体が多く、すぐに活動に役立つ講座であったと好評だった。	B		支援講座では、市民活動の広報や運営、交流にITを活用するための講座を、支援センター職員自ら講師を務める形で企画をした。7月は6月からのHPづくりの2回目。8月はGoogleフォームの活用の仕方を取り上げた。どちらも市民活動団体の広報や情報の共有に役立つものとして有用な講座となった。	B		支援講座では、市民活動の広報や運営、交流にITを活用するための講座を、支援センター職員自ら講師を務める形で企画をした。10/20には市民活動発信! 想いを伝える広報というタイトルで広報紙等の作成についての講座を行った。12/13にはグループウェアを活用し、団体内部の情報を共有しよう! というタイトルでプロボノワーカーによる講座を行った。	B		1月28日(日)に「動画」で伝える! あなたの活動のテーマで、活動に役立つ動画編集の講座を実施し今年度8回の支援講座を全てを終了した。今年度も会場は支援センター、講師は全講座スタッフが担い、団体活動に今すぐ役立つ内容とした。このような団体に寄り添い、すぐに役立つ講座を、団体のニーズに応じてこれからも続けていきたい。
定量的 八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の適正な管理 団体登録・承認作業等/随時	A	リニューアル後の「はちコミねっと」について、継続的に操作講習会を開催し、個別の問い合わせにも丁寧な対応を行い、サイトの活用促進に努めたことを評価する。	A	「はちコミねっと」の基本講習会(月1回)、個別相談会(月3回)開催した。その他に、登録団体からの電話による相談、日程調整しての個別対応も行った。登録時の確認事項として、宣言、登録内容確認の書類を作成し、すでに登録している団体へは郵送した。(回収)新規登録団体へは登録用紙に宣言項目を追加した。	A	リニューアル後の「はちコミねっと」について、継続的に操作講習会を開催し、個別の問い合わせにも丁寧な対応を行い、サイトの活用促進に努めたことを評価する。	A	基本講習会を月1回、個別相談会(予約なし)を月3回、日程調整をした上で個別相談、電話による個別相談を引き続き行った。講習会の内容についても検討した。10月時点で宣言用紙未提出の団体を「はちコミねっと」で非表示した。(センター登録の状態ではない)新規登録団体、再表示団体(新システムへの移行時、宣言提出時)、登録抹消団体に対応した。グループウェアで団体管理のアプリを作成し、団体の登録状況を一元管理し、スタッフが問い合わせに対応できるようにした。(団体情報に個人情報含まず)	A	リニューアル後の「はちコミねっと」について、継続的に操作講習会を開催し、個別の問い合わせにも丁寧な対応を行い、サイトの活用促進に努めたことを評価する。	A	基本講習会を月1回、個別相談会(予約なし)を月3回、日程調整をした上で個別相談、電話による個別相談、メールによる個別相談を引き続き行った。講習会の内容についても検討した。10月時点で宣言用紙未提出の団体を「はちコミねっと」で非表示した。(センター登録の状態ではない)新規登録団体、再表示団体(新システムへの移行時、宣言提出時)、登録抹消団体に対応した。グループウェアで団体管理のアプリを作成し、団体の登録状況を一元管理し、スタッフが問い合わせに対応できるようにした。(団体情報に個人情報含まず)ので、宣言書未提出の団体にスタッフから声掛けしやすくなった。	

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

視 点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)		
		所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)					
	「ゆめおりファンド」人財による団体支援 3団体以上/年	B		前期の説明会・西部出張相談会・パワーアップ講座及び、個別相談を含め計8団体から要望のあったHP作成支援をテーマに6月・7月の全2回の支援を実施した。講師4名を含めて数回開いたヒヤリングには、計7名のワーカーが参加した。	B		6~7月(全2回)に実施したHP作成支援講座受講8団体と、プロボノワーカー4名が参加したグループウェアを開設した。講座実施効果の向上と関係者のコミュニケーション継続を目的とした初めての手法である。	B		11月に受講した「地域参加のトビラ」(サービスグラント)を契機にワーカー3名を獲得した。市広報紙元旦号のプロボノ掲載の準備など新たな展開があった。	B		今年度ゆめおりファンド新規登録者数は3団体。 物品支援は寄付件数6件、物品提供団体14団体、寄付をいただいたところには活用報告をおこなった。 プロボノ支援は、支援講座やパワーアップ講座と連動しながら8団体の支援をおこなった。		
	NPOフェスティバルの開催 1回/年	B		今年度は9月30日の開催予定である。この四半期はNPOフェスティバルの開催準備期間ではあるが、説明会の開催、参加の勧誘や個別説明等を行い、結果的には数多くの団体と接触し、それらの団体の特質を把握できる月だった。	B		「はちおうじNPOフェスティバル2023」を9月30日(土)に東京たま未来メッセの展示会場にて開催した。 4月より団体参加希望を募り、出展・出店53団体、舞台11団体の規模となり、当日の入場者は2,000名余りとなった。今回は本市が学園都市であることもあり、大学の地域活動の取り組みの展示や交流座談会を新規に試行し、また学生のボランティアの協力・協働にこれまで以上に力を入れた複合イベントとなった。	B		「はちおうじNPOフェスティバル2023」を9月30日(土)に東京たま未来メッセの展示会場にて開催した。 4月より団体参加希望を募り、出展・出店53団体、舞台11団体の規模となり、当日の入場者は2,000名余りとなった。今回は本市が学園都市であることもあり、大学の地域活動の取り組みの展示や交流座談会を新規に試行し、また学生のボランティアの協力・協働にこれまで以上に力を入れた複合イベントとなった。	B		「はちおうじNPOフェスティバル2023」を9月30日(土)に東京たま未来メッセの展示会場にて開催した。 4月より団体参加希望を募り、出展・出店53団体、舞台11団体の規模となり、当日の入場者は2,000名余りとなった。今回は本市が学園都市であることもあり、大学の地域活動の取り組みの展示や交流座談会を新規に試行し、また学生のボランティアの協力・協働にこれまで以上に力を入れた複合イベントとなった。		
	交流会の開催 3回/年	B		今年度は年3回の交流会を予定しているが、1回目は7月9日に予定している。	A	交流会の実施により、市民活動団体が連携する場を提供したことを評価する。		7月9日に「子育て交流会」を開催。参加者31名・登壇3団体。参加者の73%は50代以下で、意見交換や新規団体登録、横の繋がり等ができて、若い子育て世代の意見交換の場の必要性を改めて感じた。 9月26日に「防災交流会」を開催。参加者92名・登壇者2名。自治会、障害者支援、高齢者安心サポートセンター、外国人支援団体等が参加し、新たな連携が生まれた。情報共有と分野超えの連携の必要性を再確認する良い機会となった。	B		2月12日開催予定「誰もが心豊かに暮らし続けられる地域づくり」交流会の準備期間(会場予約・チラシ作成・プログラム確定)。松が谷地区でコミュニティスペースまつるを運営している一般社団法人コミュニティネットワークの理事長に登壇依頼し、調整・打合せを行った。	B		2/12「誰もが豊かに暮らし続けられる地域づくり交流会」を実施。地域コミュニティについての講演後、ワールドカフェで誰もが安心して住み続けられるまちづくりについて意見交換した。後日、センターを利用し4団体が協力ミーティングを実施し連携が生まれた。他にも連携の相談があった。交流会を通して、接点がなかった団体同士と市民がつながり、協力することとなった今回の交流会は目標を超える成果を得た。 今年度は7月に「子育て」8月に「防災」をテーマにして、3回の交流会を実施した。いずれも多様な団体や市民が参加し、活発な意見交換がなされて、多くの連携、繋がりが生まれた。	
	はちおうじNPO会議 1回/年	B		今年度は第4四半期に開催を予定している。	B			今年度は第4四半期に開催を予定している。			今年度は第4四半期に開催を予定している。	B		3月20日に開催。「行政とNPOとの協働のあり方に関する基本方針」を策定した20数年前の当時を振り返りながら、世代や立場を超えて未来に向けた「協働」、「共創」のあり方を考えた場とした。副題とした「みんなで担うまちづくり」に添って、参加者からは協働のあり方の意見も多数あり、市民から貴重な意見をヒアリングする場もなった。	
	センター1日出張の実施 3回/年	B		昨年2回だった出張センターは今年度は3回予定している。5月20日に北部地区「石川市民センター」で開催。はちコミねっと、ゆめおりファンドなどの相談などが中心だったが、地域特性のある話も聞けて、八王子6地区ごとの出張センターは今後も必要であると確認した。				7~9月は実施なし。次回は10月を予定。	B		10月6日に第2回センター1日出張を西南部地区で開催した。その地区の団体と長期的にコラボ企画の可能性について話し合うこととなった。高齢者あんしん相談センターは情報共有・情報収集のためにオブザーバーとして参加。はちコミねっと・ファンド・地域連携の実績につながった。	B		1/14に東部地域にある由木中央市民センターで実施。団体の情報更新・活動相談・活動紹介・はちコミねっと・Lineグループツールミニ講座・はちコミねっとミニ講座・他団体への連携紹介・ゆめおりファンド説明の業務を行った。つながり情報共有もでき、近くだから気軽に来れた。毎年やっていたらいいと要望多数。今年度は北部、西南部、東部と3地域で実施したが、どの地域でも好評で、実施地域を増やすことも必要だと感じた。	
	定性的 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B		「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	B		熱中症に十分気を付けながら、電気代等の値上げに伴い今まで以上に、照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。	B		熱中症に十分気を付けながら、電気代等の値上げに伴い今まで以上に、照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。	B		電気代等の値上げに伴い今まで以上に、照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。	B	
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的 防災訓練 1回/年	B		ビル管理事務所の指導に基づいた自主防災訓練を行う。これに加え、今年も秋に団体合同の防災訓練を行う予定である。	B		ビル管理事務所の指導に基づいた自主防災訓練を行う。これに加え、今年も秋に団体合同の防災訓練を行う予定。	B		11月10日(金)ビル全体の自衛消防訓練実施に伴い、5階フロアにて災害時の対応手順の理解のため防火防災責任者を中心にスタッフ全員で自衛消防訓練を行った。 12月17日(日)NPO法人国際ボランティア学生協会の協力で、学生が考案した防災プログラムにのって防災訓練を実施した。	B		今年度も第3四半期に2回実施 11月10日(金)ビル全体の自衛消防訓練実施に伴い、5階フロアにて災害時の対応手順の理解のため防火防災責任者を中心にスタッフ全員で自衛消防訓練を行った。 12月17日(日)NPO法人国際ボランティア学生協会の協力で、学生が考案した防災プログラムにのって防災訓練を実施した。		
	定性的 個人情報の取り扱いが適切であること	B		個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B		個人情報については鍵のかかる場所で厳重に保管している。また、個人情報保護マニュアルは定期的に見直ししており、昨年度見直しを終えた。	B		個人情報については鍵のかかる場所で厳重に保管している。また、個人情報保護マニュアルは定期的に見直ししており、昨年度見直しを終えた。	B		個人情報については鍵のかかる場所で厳重に保管している。また、個人情報保護マニュアルは定期的に見直ししており、昨年度見直しを終えた。センタースタッフ全員を対象に今年度も「個人情報取り扱いセミナー」を実施した。		
	定性的 緊急(防火・防犯等)対応等危機管理	B		指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例:保険証券】	B		保険に加入し、適時更新している。	B		保険に加入し、適時更新している。	B		保険に加入し、適時更新している。	B	

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
	<p>管理体制が取られていること</p> <p>事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例：マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】</p>	B		<p>防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるように体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。</p>	B		<p>防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるように体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。</p>	B		<p>防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるように体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。</p>	B		<p>防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるように体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。</p>

B

期末総合評価	
所管課コメント	<p>令和5年度(2023年度)は、5年間の指定管理期間の3年目となった。市民活動支援センターの指定管理者である特定非営利活動法人八王子市民活動協議会は、その実績や経験を活かしながら、基本協定及び年度協定に基づいた適正な施設の管理運営を行ったといえる。利用者への満足度調査では、各項目において高い満足度を維持しており、全体的な満足度は前年度に引き続き、「満足」「やや満足」が99%以上を占めるなど、多くの市民に満足度の高いサービスを提供している。</p> <p>昨年リニューアルした八王子市コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の運用においては、操作に関する個別相談やワンポイント講座など、活用促進に努めたことは評価できるものである。また、会議室の予約について、現在は電話及び窓口で予約を受けているが、市民活動支援センターのホームページ上で予約できるよう、令和6年度(2024年度)からの運用開始に向け予約システムの構築を進めており、デジタルの活用による利用者の利便性の向上に努めたことは評価できる。</p> <p>令和6年度(2024年度)も引き続き市民活動支援センターの周知を積極的に行い、特に利用の少ない曜日や夜間の時間帯に、現役世代や学生などの若年層の利用増加を図るとともに、市民の市民活動への関心を高める企画や団体間の連携を図る事業の実施、相談体制のより一層の強化等により、中間支援組織として市民活動の促進を図ることを期待する。</p>